

# コロナ禍に対応した新たな日常生活における合理的配慮の提供等について

## もくじ 目次

### 1

#### しかくしょうがい 視覚障害

1 ページ

##### かだい 課題1 しんたいいききより かくほ 身体的距離の確保

- ① 距離を把握することが難しいため、気付かずに近づきすぎてしまうことがある。
- ② ガイドヘルパーの肩や腕につかまり、密着して歩く必要があり、身体的距離を確保できない。

##### かだい 課題2 てんぽとう かんせんぼうしだいさく 店舗等での感染防止対策

- ① 感染防止対策のためのレイアウトの変更がわかりづらい（透明アクリル板の設置箇所、距離を保つための床の目印等）。
- ② 店舗等を利用するにあたっての新しいルールがわからない（消毒・体温測定の実施、入口・出口の固定、営業時間の変更等）。
- ③ 店内の誘導、買い物や注文の手伝いを頼みにくい。
- ④ セルフレジが増えており、画面へのタッチが難しく買い物がしづらい。
- ⑤ 品物がよく見えないので、物を手にとって確かめたい。
- ⑥ 金銭を以前は手渡ししてくれていたが、トレイの上に置かれるようになり、トレイの位置が分からず取るのに時間がかかる。

### 2

#### ちょうかくしょうがい 聴覚障害

2 ページ

##### かだい 課題1 ちやくよう マスクの着用

- ① コミュニケーションの際、口の動きや表情を参考をしているため、話している内容を理解するのが難しい。
- ② 話しかけられても、声がこもって気付かない。
- ③ 複数人と話をする際に、誰が話しているかがわからない。

##### かだい 課題2 かいぎ オンライン会議

- ① 手話通訳者と資料を同時に見るのが難しい。

### 3 肢体不自由

3ページ

#### 課題1 身体的距離の確保

- ① 車いす使用者と話す時、立っている人よりも低い位置に顔があるため、相手が目線を合わせようと、近づいてきてしまう。
- ② 車いす使用者と介助者は介助中に距離をとるのが難しい。
- ③ 1席ずつ空けて座ることがルール化されており、介助者が隣席に座れない。

#### 課題2 マスクの着用、消毒

- ① 消毒液の置いてある位置が高くて届かない等、消毒液が使用しづらい点がある。
- ② 上肢に障害があるため、マスクの着脱や消毒液の取り出しがスムーズに行えない。

### 4 内部障害

4ページ

#### 課題1 マスクの着用

- ① 呼吸機能障害があり、マスクをすると呼吸が苦しくなるため、つけることが難しい。

### 5 知的・発達・精神障害

4ページ

#### 課題1 身体的距離の確保

- ① 人との距離間をつかむことが難しく、近づいてしまうことがある。
- ② ガイドヘルパーなどの支援者は密着して支援をする場合がある。

#### 課題2 マスクの着用、手洗い・消毒

- ① 感覚過敏のため、マスクの着用、手洗い、消毒が困難（痛い、苦しい、違和感）
- ② 表情が見えないことに不安を感じてしまう。

- ③ マスクをつけなければならないことが理解できない。  
④ マスクがつけられないがために周りから厳しい目で見られるため、外出しにくくなった。

### 課題3 その他

- ① コロナ禍という状況が理解できない。  
② 感染症への強い不安を感じる。  
③ いつもどおりでないと、パニックになる。  
④ 会話を控えなければいけない場面でも、障害特性により声をだしてしまうことがある。  
⑤ 普段から様々な薬を服用しており、副反応の恐れからワクチン接種をしていない。今後、未接種を理由に施設の利用やサービスの提供を拒否されないか不安がある。